

「酒田市スポーツ推進計画」中間見直し原案に寄せられたご意見への対応について

【意見の内訳】

3 人 10 件

【方向性】

- ◎ 計画案への反映を行うもの
- 意見の趣旨がすでに記載されていると判断するもの
- △ 計画案への反映を行う内容ではないと判断するもの

計画案関連箇所		意 見		計画案への反映	
項 目	No.	要 旨	方向性	考 え 方	
表紙		1	①見出しに「第2期」と追記できないか。 ②「推進する」を「推進します」に修正可能か。 ③月日等を削除しスリム化できないか。	△	①③第1期計画の中間見直しであるため、対応はできかねます。 ②県計画にならい、語尾は「する」とします。
第1章	4	2	2～3行目「本計画では～表記します。」の内容が理解できない。	◎	分かりやすい表現に修正いたします。
第2章	1	3	施設のあり方に関しても～に文言を挿入したい。 ①「SDGs」 ②「持続可能な施設」	◎	①②本文に追記いたします。
第2章	3	4	「体育施設」を「スポーツ施設」に修正可能か。	△	今回の見直しでは、市の施設は条例にならい、全て「体育施設」で統一しております。
第2章 第3章	1 2 ほか	5	この推進計画が策定されて6年が経ち、中間見直しを行うのであれば、スポーツの推進について「する」「みる」「ささえる」→「する」「みる」「ささえる」「しる」にしてみたいかがでしょうか。学習要領でも「する、みる、支える、知る」と改訂になっているので、数年後には「知る」があたり前にスポーツ推進の1つとなっていると思われます。	◎	基本理念の「する」「みる」「ささえる」に「しる」を追記いたします。

計画案関連箇所		意見		計画案への反映	
項目		No.	要旨	方向性	考え方
第2章 第3章	1 2 ほか	6	令和5年11月に開催された「全国学校体育研究大会～山形大会」では「山形県の推進計画、する・みる・ささえる・しる」の視点で協議されていた。第一回の会議でも委員から質問がでていたが、「しる」の視点も必要に感じる。「モルック」等、以前は馴染みがなかった競技も昨今は話題になってきている。知ることは、年齢、立場、状況にかかわらない概念。生涯にわたってスポーツに関心を持ち楽しもうとするきっかけにもなるように思う。ただ、その概念規定や捉え、その内容（活動）について考えていくとなると時間がかかり無理があるでしょうか？	◎	基本理念の「する」「みる」「ささえる」に「しる」を追記いたします。
第3章	3 1-(2)	7	部活動における地域移行、地域展開？等には、格差や他、課題が様々で、その対策を模索している段階ですが、誰もが平等にスポーツの機会を得られるのは、いまのところ学校の授業しかないのかもしれませんが。例え短い時間でも、「スポーツ鬼ごっこ」等、授業にくみこむ事業があったり、中学校、高校でも、部活とは違う、教育の一環としての指導要領に基づいた内容の充実を図りながら、自ら健康な身体をつくらせようとし、スポーツを楽しむような子どもを育てよう、地域や関係団体と、協力しあい生涯スポーツについて考えあっていかなければならないのだと、実感しました。	○	本文の修正はありません。

計画案関連箇所		意見		計画案への反映	
項目		No.	要旨	方向性	考え方
第3章	3 I - (4) ②	8	スポーツしやすい環境の整備はとても心強いです。その一方で、「スポーツハラスメントや女性アスリート特有の疾病の相談ができる女性の相談窓口について・・・」云々の記述、個々の状況によって誰もが相談できる窓口であってほしいと思います。あえて「女性」とつけるのは、それだけ深刻なのかもしれませんが・・・	○	本文の修正はありません。
第3章	3 II - (1)	9	トップアスリートの育成・強化の推進に文言を挿入したい。 ①トップアスリートの市内定着・回帰 ②わが町のスポーツ、本市の資源（E x ローイング）	△	①推進項目の趣旨とは異なるため、見送りとします。（《現状と課題》に記述あり。） ②特定の競技だけを推進することは困難なため、見送りとします。
第3章	3 IV - (3) ②	10	クマ出没対応の記述は？	◎	危機管理対策を本文に追記いたします。